

福島第一における自動運転EVバスの取り組み状況

2020年4月30日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. これまでの成果と今後の予定

- 2018年4月、移動効率化や利便性向上等を目的とし、福島第一構内に自動運転EVバス“ARMA”（愛称「はまかぜe」）を導入。実用化は日本初。構内を移動される方の足として、入退域管理棟から登録センター間（往復約2km）の定期運行を開始。ご視察向けに高台間（往復約5km）を走行。
- 将来の無人運転化や浜通り地域の公道サービスへの貢献を目指し、2年間にわたり知見を蓄積。
- ARMAの運用は2020年3月末で終了。今後は、更なる自動運転の技術開発を進めるため、新たなパートナーを選定中。



<主な仕様>

製造国	フランス
全長	4.75m
全幅	2.11m
全高	2.65m
定員	15名※1
最高速度	45km/h※2
車両総重量	3,450kg
蓄電池容量	33kWh

<得られた主な成果・課題認識>

- 光センサーによる誤検知の実情と対処方法
- 歩行者や他車両とのコミュニケーションの必要性
- 交差点通過時の安全対策
- 運行を安定化するためのインフラ整備
- その他、自動運転が苦手な条件の把握

【総走行距離】 約5,390km

【乗車実績】 約3,300名（移動用）
約 400名（視察用）

※1：着席最大10名で運用

※2：最高速度は約18km/hで運用